

柏の景気情報（平成19年5月分）

柏 商 工 会 議 所

（本件担当） 柏商工会議所 中小企業相談所 振興課
〒277-0011 千葉県柏市東上町7-18
TEL : 04-7162-3305
FAX : 04-7162-3323
URL : <http://www.kashiwa-cci.or.jp>
E-mail : info@kashiwa-cci.or.jp

柏の景気情報（平成19年5月分）

○ 調査期間 : 平成19年5月21日 ~ 5月24日

○ 調査対象 : 柏市内99事業所及び組合にヒアリング

＜産業別回収状況＞

調査産業	調査対象数	回答数	回収率
全産業	99	72	72.7%
建設	17	15	88.2%
製造	23	18	78.3%
卸・小売	40	28	70.0%
サービス	19	11	57.9%

○ 調査方法と調査表 : 下記「質問A」をDI値集計し、「質問B」で「業界内のトピック」の記述回答。

質問A

質問事項	回答欄					
	前年同月と比較した 今月の水準			今月の水準と比較した向 こう3ヶ月の先行き見通し		
a.売上高 (出荷高)	1 増加	2 不変	3 減少	1 増加	2 不変	3 減少
b.採算 (経常利益ベース)	1 好転	2 不変	3 悪化	1 好転	2 不変	3 悪化
c.仕入単価	1 下落	2 不変	3 上昇	1 下落	2 不変	3 上昇
d.従業員	1 不足	2 適正	3 過剰	1 不足	2 適正	3 過剰
e.業況	1 好転	2 不変	3 悪化	1 好転	2 不変	3 悪化
f.資金繰り	1 好転	2 不変	3 悪化	1 好転	2 不変	3 悪化

質問B 業界内のトピック(記述式)

DI値 = 1 増加他の回答割合 - 3 減少他の回答割合

※ DI値(景況判断指数)について

DI値は、売上、採算、業況などの項目についての判断状況を表す。0(ゼロ)を基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

※ DI値と景況の概況

DI ≥ 50	50 > DI ≥ 25	25 > DI ≥ 0	0 > DI ≥ ▲25	▲25 > DI
特に好調	好調	まあまあ	不振	極めて不振

【平成19年5月の調査結果のポイント】

◀ 業況DIは3ヶ月振りにマイナス幅が拡大、建設業は先月の反動からか、大幅に悪化 ▶

○5月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲19.4(前月水準▲15.7)となり、マイナス幅が▲3.7ポイント拡大した。

業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小した業種は、幅の大きい順に、製造業±0.0(同▲5.8)、卸小売業▲32.1(同▲33.3)である。マイナス幅が拡大した業種は、幅の大きい順に、建設業▲26.6(同▲6.2)、サービス業▲9.0(同±0.0)であり、特に、建設業はマイナス幅が▲20.4ポイントと大幅に拡大した。

【建設業】では、「仕事の方も少しずつ出てきた」(その他の職別工事)と、一部で物件増加の声が寄せられているが、「民間・官公庁共に発注物件が出るものの、予算が積算とつりあう金額ではないため自社努力で取り組める範疇を超えている」(土木建築)、「厳しい状況に変わらない」(土木建築)との厳しい声の他、「天候不順による行程の変動が多く、悩みの種」(板金工事)との声や、「全体的には前年度と同じで状況は不変だが、向こう3ヶ月の先行き見通しは不透明。好材料が少ない」(土木工事)といった先行き不透明の声が寄せられている。

【製造業】では、「原材料の値上げが再び活発化してきており、利益を圧迫している」(工業用ゴム製品製造)、「複写機・プリンター関係に使用されているキャリアは好調だが、相変わらずカイロ関係は不調」(鉄粉製造)との声が寄せられている。また、「短納期での注文が増加している」(機械・同部品製造、電子部品・デバイス製造)といった声に加え、「加工において一時的に工数オーバーが発生。外注加工にスポット発注をし、原価のアップ要因となっている」(機械・同部品製造)といった外注加工増加による仕入上昇の声が寄せられた。

【卸小売業】では、「学生衣料・夏服順調。文具事務用品も好調」(学生衣料小売)、「新店がオープンし、好調に推移していることから、売上は昨年と比較して若干回復傾向」(各種商品小売)といった声が寄せられているものの、「原油価格高騰により仕入単価の値上げの予想あり」(ガソリンスタンド)、「沈静化していた安売り業者がここに来て動きが出てきた」(燃料小売)、「客数が減少している」(医薬品小売)といった厳しい声が全体で多く寄せられている。特に、「昨年5月にイオン南柏SCが開業し、当月で一巡したが、その後の柏の葉ららぽーと・おたかの森SCの開業により相殺され、売上高の回復は見られない」(百貨店)、「衣・住は昨比維持ペースで推移しているが、食品が苦戦(客単価、平均単価はアップ、客数ダウン)。昨年からの競合オープンの連続が影響しているものと思われる」(各種商品小売)といった大型店の相次ぐ出店に関する声が多く寄せられた。また、「GW明けから売上が減少し、そのまま推移。昨年のデータを見ても同じような傾向」(食料卸売)、「リニューアル工事で営業面積が減少していることや、今年のGWは行楽地に人が流れたこともあり、売上高は昨年を下回る推移となった」(各種商品小売)、「例年より人出の多いGWであったが、軽衣料、アクセサリ類に若干動きがあった程度で、貴金属等の高額商品は不調」(各種商品小売)といったゴールデンウィークに関する声の他、「野菜は入荷増単価安、果実は入荷減単価高の傾向。また、昨今の突然の雷雨や高温、山でのダム水不足も気になる」と(食料卸売)といったコメントも寄せられている。

【サービス業】では、「Jリーグ関連の宿泊あり」(ホテル)、「土曜日より日曜日の方が忙しい」(レストラン)との声の一方、「宴会・会議厳しい状況」(ホテル)といった声が寄せられている。その他、「車の来店客が増加」(レストラン)との声や、「理容の世界大会で日本の選手が1位と3位を取り、テレビ放映された。業界の活況につながればと思う」(理容)、「大手外食に負けない技術とサービスで個人店舗も努力を重ねなければ生き残れない」(日本料亭)といった業界ごとのコメントも寄せられている。

◎大型店出店

「昨年5月にイオン南柏SCが開業し、当月で一巡したが、その後の柏の葉ららぽーと・おたかの森SCの開業により相殺され、売上高の回復は見られない」(百貨店)、「衣・住は昨比維持ペースで推移しているが、食品が苦戦(客単価、平均単価はアップ、客数ダウン)。昨年からの競合オープンの連続が影響しているものと思われる」(各種商品小売)、「おたかの森SCの中の紀伊国屋(900坪)も強敵」(書籍小売)といった大型店の相次ぐ出店に関する厳しい声や、「アルバイトが募集をかけても集まらなくなった。人手不足は近隣大型店の影響か」(菓子小売)といった人手不足に関する声も寄せられている。また、「大型店舗がやっと出揃い、これから大手とどう違いをみせていくかが今後の中小小売店の課題」(各種食料品小売)といったコメントも寄せられた。

◎仕入上昇

「短納期対応の受注が増え、加工において一時的に工数オーバーが発生。外注加工にスポット発注をし、原価のアップ要因となっている」(機械・同部品製造)といった外注加工増加による一時的な上昇の声や、「原材料の値上げが再び活発化してきており、利益を圧迫している」(工業用ゴム用品製造)との声や、「原油価格高騰により仕入単価の値上げの予想あり」(ガソリンスタンド)といった原油高騰を懸念する声が寄せられている。

	全産業	建設	製造	卸・小売	サービス
12月	▲14.6	▲37.5	△16.6	▲20.6	▲16.6
1月	▲15.2	▲15.3	▲22.2	▲13.7	▲8.3
2月	▲25.7	▲20.0	▲22.2	▲38.4	▲9.0
3月	▲22.8	▲38.4	▲5.8	▲37.9	△9.0
4月	▲15.7	▲6.2	▲5.8	▲33.3	±0.0
5月	▲19.4	▲26.6	±0.0	▲32.1	▲9.0
見通し	▲16.6	▲26.6	△11.1	▲28.5	▲18.1

見通しは今月の水準と比較した向こう3ヶ月の先行き見通しDI

【DI値集計表】

	売上高(受注・出荷)		採算		仕入単価		従業員	
	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き
全業種	▲ 20.8	▲ 5.5	▲ 15.2	▲ 13.8	▲ 38.8	▲ 34.7	△ 11.1	△ 12.5
建設	▲ 40.0	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 46.6	▲ 40.0	▲ 40.0	△ 6.6	△ 13.3
製造	▲ 16.6	△ 27.7	±0.0	△ 5.5	▲ 50.0	▲ 38.8	△ 16.6	△ 16.6
卸・小売	▲ 17.8	▲ 14.2	▲ 28.5	▲ 14.2	▲ 42.8	▲ 32.1	▲ 3.5	▲ 3.5
サービス	▲ 9.0	±0.0	△ 18.1	±0.0	▲ 9.0	▲ 27.2	△ 45.4	△ 45.4

	業況		資金繰り	
	前年比	先行き	前年比	先行き
全業種	▲ 19.4	▲ 16.6	▲ 4.1	▲ 5.5
建設	▲ 26.6	▲ 26.6	±0.0	±0.0
製造	±0.0	△ 11.1	△ 5.5	±0.0
卸・小売	▲ 32.1	▲ 28.5	▲ 14.2	▲ 14.2
サービス	▲ 9.0	▲ 18.1	±0.0	±0.0

【平成19年5月の業況についての状況】

○ 5月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲19.4(前月水準▲15.7)となり、マイナス幅が▲3.7ポイント拡大した。

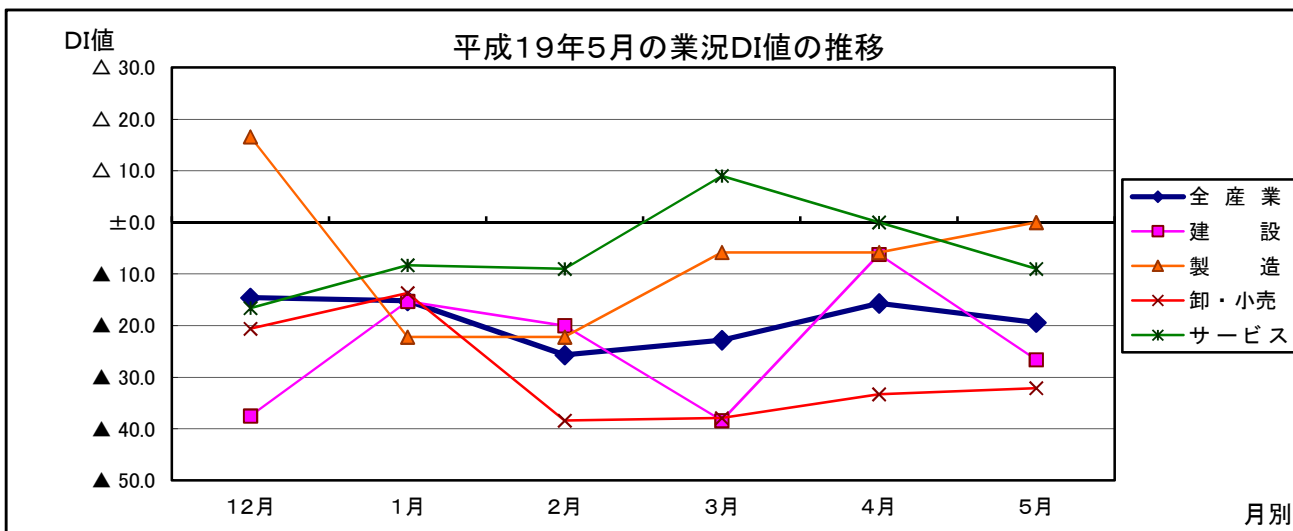
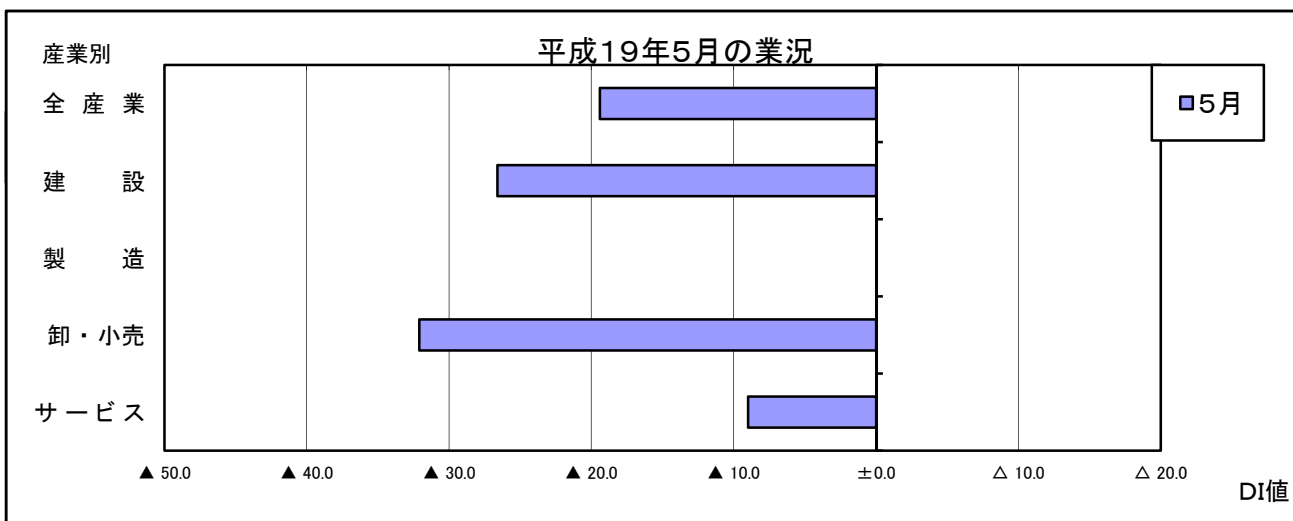
業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小した業種は、幅の大きい順に、製造業±0.0(同▲5.8)、卸小売業▲32.1(同▲33.3)である。マイナス幅が拡大した業種は、幅の大きい順に、建設業▲26.6(同▲6.2)、サービス業▲9.0(同±0.0)であり、特に、建設業はマイナス幅が▲20.4ポイントと大幅に拡大した。

○ 向こう3ヶ月(6月から8月)の先行き見通しについては、全産業では、▲16.6(前月水準▲12.8)となり、マイナス幅が▲3.8ポイント拡大する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、プラス幅が拡大する見通しの業種は、製造業△11.1(同△5.8)である。マイナス幅が拡大する見通しの業種は、幅の大きい順に、サービス業▲18.1(同▲10.0)、建設業▲26.6(同▲18.7)、卸小売業▲28.5(同▲22.2)である。

平成19年5月業況DI値(前年同月比)の推移

	平成18年 12月	平成19年 1月	2月	3月	4月	5月	先行き見通し 6月~8月(5月~7月)
全産業	▲14.6	▲15.2	▲25.7	▲22.8	▲15.7	▲19.4	▲16.6(▲12.8)
建設	▲37.5	▲15.3	▲20.0	▲38.4	▲6.2	▲26.6	▲26.6(▲18.7)
製造	△16.6	▲22.2	▲22.2	▲5.8	▲5.8	±0.0	△11.1(△5.8)
卸・小売	▲20.6	▲13.7	▲38.4	▲37.9	▲33.3	▲32.1	▲28.5(▲22.2)
サービス	▲16.6	▲8.3	▲9.0	△9.0	±0.0	▲9.0	▲18.1(▲10.0)



【平成19年5月の売上についての状況】

○ 5月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲20.8(前月水準▲12.8)となり、マイナス幅が▲8.0ポイント拡大した。

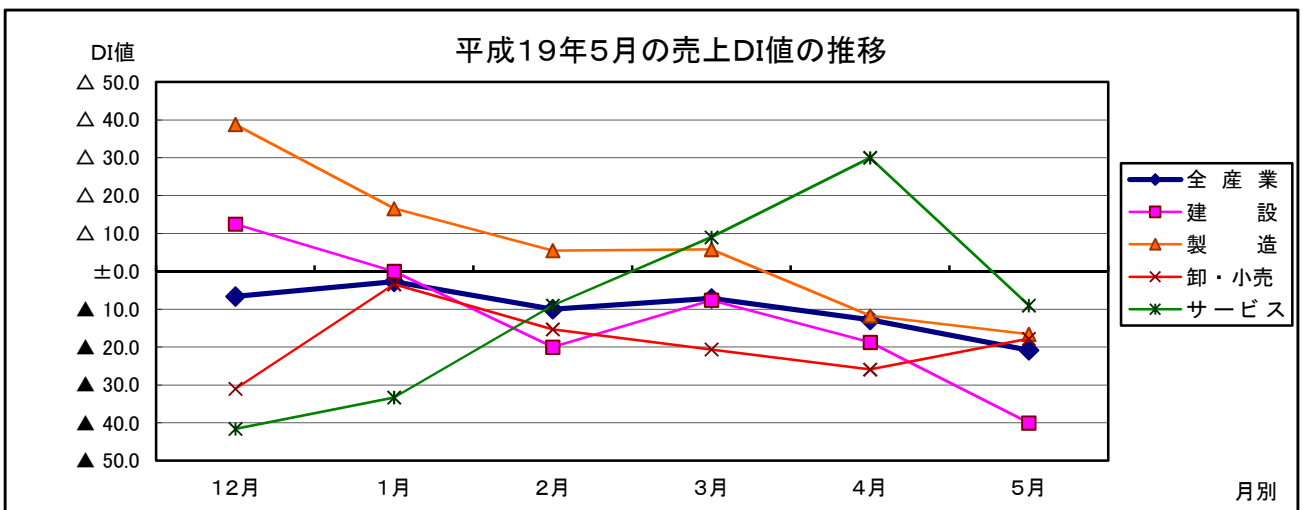
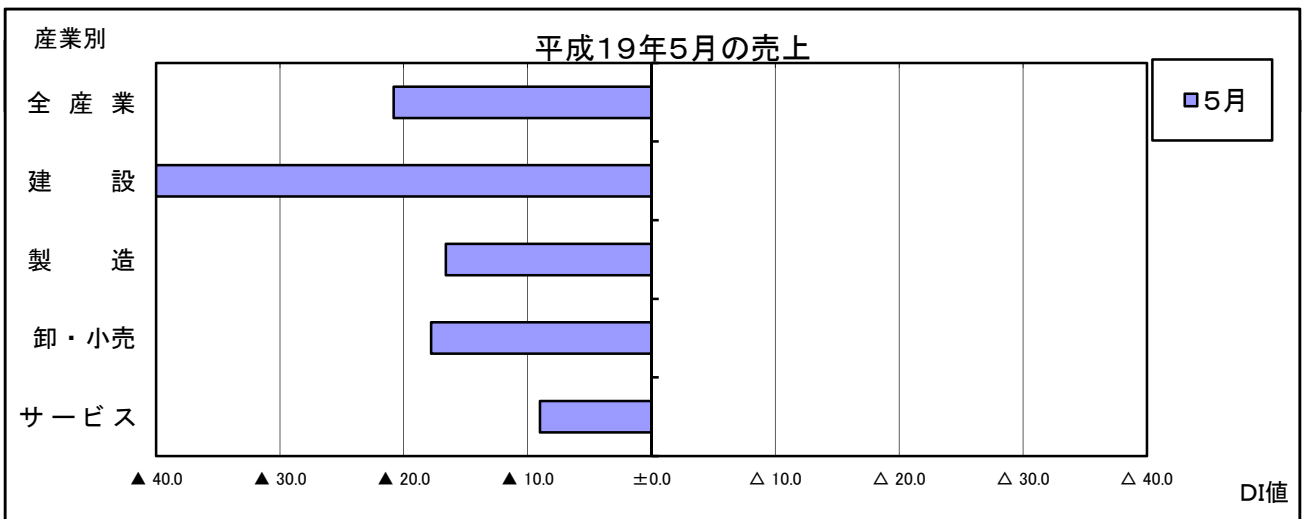
業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小した業種は、卸小売業▲17.8(同▲25.9)である。マイナス幅が拡大した業種は、幅の大きい順に、サービス業▲9.0(同△30.0)、建設業▲40.0(同▲18.7)、製造業▲16.6(同▲11.7)であり、特に、サービス業▲39.0ポイント、建設業▲21.3ポイントと大幅に拡大した。

○ 向こう3ヶ月(6月から8月)の先行き見通しについては、全産業では、▲5.5(前月水準△2.8)となり、プラスからマイナスに転じ、▲8.3ポイント拡大する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、プラス幅が縮小する見通しの業種は、幅の大きい順に、サービス業±0.0(同△20.0)、製造業△27.7(同△29.4)であり、特に、サービス業はプラス幅が▲20.0ポイントと大幅に縮小する見通しである。マイナス幅が拡大する見通しの業種は、幅の大きい順に、建設業▲33.3(同▲12.5)、卸小売業▲14.2(同▲11.1)であり、特に、建設業はマイナス幅が▲20.8ポイントと大幅に拡大する見通しである。

平成19年5月の売上DI値(前年同月比)の推移

	平成18年 12月	平成19年 1月	2月	3月	4月	5月	先行き見通し 6月~8月(5月~7月)
全産業	▲6.6	▲2.7	▲10.0	▲7.1	▲12.8	▲20.8	▲5.5(△2.8)
建設	△12.5	±0.0	▲20.0	▲7.6	▲18.7	▲40.0	▲33.3(▲12.5)
製造	△38.8	△16.6	△5.5	△5.8	▲11.7	▲16.6	△27.7(△29.4)
卸・小売	▲31.0	▲3.4	▲15.3	▲20.6	▲25.9	▲17.8	▲14.2(▲11.1)
サービス	▲41.6	▲33.3	▲9.0	△9.0	△30.0	▲9.0	±0.0(△20.0)



【平成19年5月の採算についての状況】

○ 5月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲15.2(前月水準▲20.0)となり、マイナス幅が△4.8ポイント縮小した。

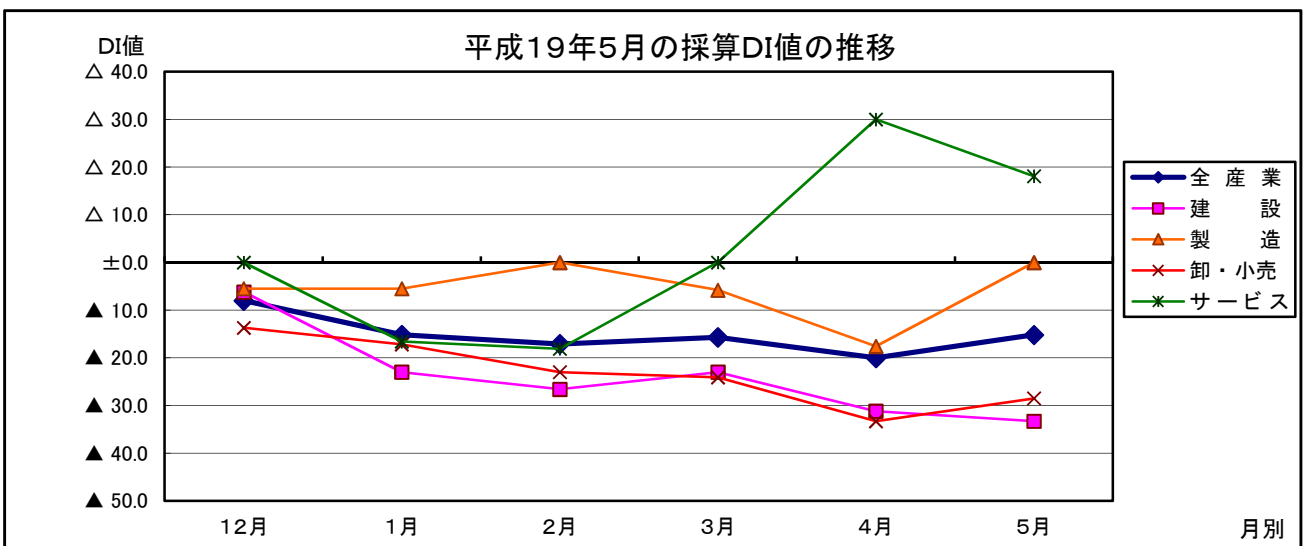
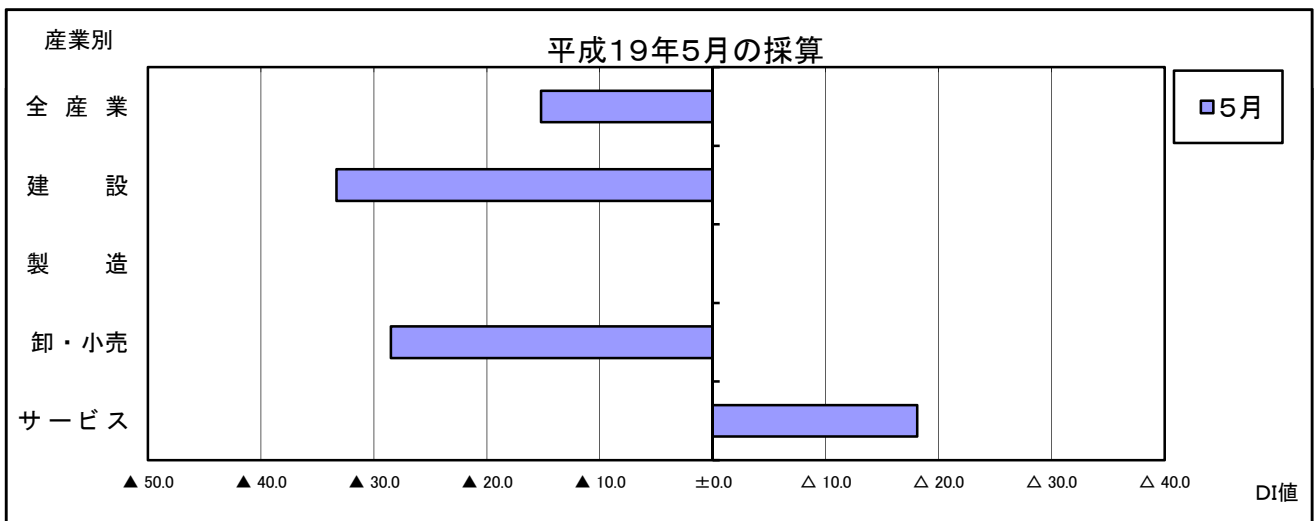
業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小した業種は、幅の大きい順に、製造業▲0.0(同▲17.6)、卸小売業▲28.5(同▲33.3)である。プラス幅が縮小した業種は、サービス業△18.1(同△30.0)である。マイナス幅が拡大した業種は、建設業▲33.3(同▲31.2)である。

○ 向こう3ヶ月(6月から8月)の先行き見通しについては、全産業では、▲13.8(前月水準▲5.7)となり、マイナス幅が▲8.1ポイント拡大する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小する見通しの業種は、卸小売業▲14.2(同▲14.8)である。プラス幅が縮小する見通しの業種は、幅の大きい順に、製造業△5.5(同△23.5)、サービス業±0.0(同△10.0)である。マイナス幅が拡大する見通しの業種は、建設業▲46.6(同▲31.2)である。

平成19年5月の採算DI値(前年同月比)の推移

	平成18年 12月	平成19年 1月	2月	3月	4月	5月	先行き見通し 6月~8月(5月~7月)
全産業	▲ 8.0	▲ 15.2	▲ 17.1	▲ 15.7	▲ 20.0	▲ 15.2	▲ 13.8 (▲ 5.7)
建設	▲ 6.2	▲ 23.0	▲ 26.6	▲ 23.0	▲ 31.2	▲ 33.3	▲ 46.6 (▲ 31.2)
製造	▲ 5.5	▲ 5.5	±0.0	▲ 5.8	▲ 17.6	±0.0	△ 5.5 (△ 23.5)
卸・小売	▲ 13.7	▲ 17.2	▲ 23.0	▲ 24.1	▲ 33.3	▲ 28.5	▲ 14.2 (▲ 14.8)
サービス	±0.0	▲ 16.6	▲ 18.1	±0.0	△ 30.0	△ 18.1	±0.0 (△ 10.0)



【平成19年5月の仕入単価についての状況】

○ 5月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲38.8(前月水準▲40.0)となり、マイナス幅が△1.2ポイント縮小した。

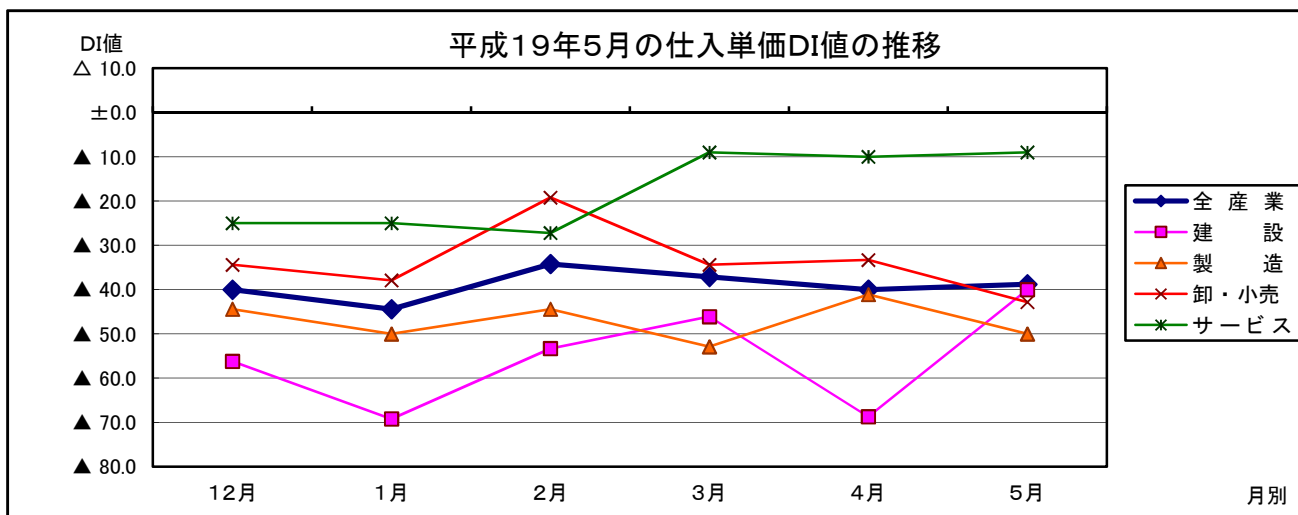
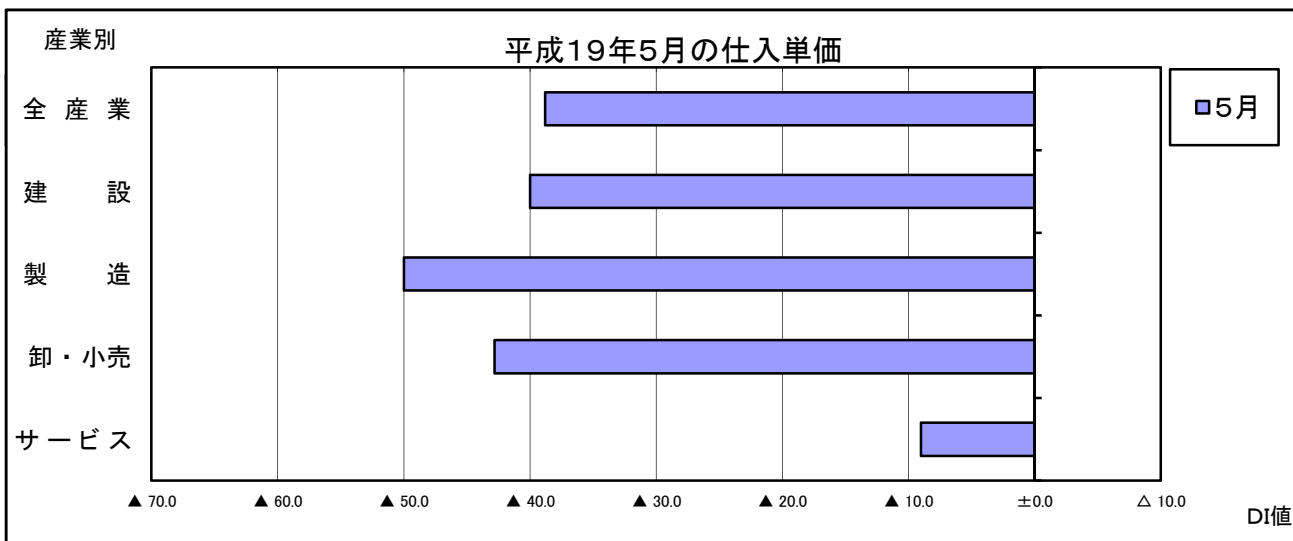
業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小した業種は、幅の大きい順に、建設業▲40.0(同▲68.7)、サービス業▲9.0(同▲10.0)であり、特に、建設業はマイナス幅が△28.7ポイントと大幅に縮小した。マイナス幅が拡大した業種は、幅の大きい順に、卸小売業▲42.8(同▲33.3)、製造業▲50.0(同▲41.1)である。

○ 向こう3ヶ月(6月から8月)の先行き見通しについては、全産業では、▲34.7(前月水準▲28.5)となり、マイナス幅が▲6.2ポイント拡大する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小する見通しの業種は、建設業▲40.0(同▲50.0)である。マイナス幅が拡大する見通しの業種は、幅の大きい順に、製造業▲38.8(同▲17.6)、サービス業▲27.2(同▲10.0)、卸小売業▲32.1(同▲29.6)であり、特に、製造業はマイナス幅が▲21.2ポイントと大幅に拡大する見通しである。

平成19年5月の仕入単価DI値(前年同月比)の推移

	12月	平成19年 1月	2月	3月	4月	5月	先行き見通し 6月~8月(5月~7月)
全産業	▲40.0	▲44.4	▲34.2	▲37.1	▲40.0	▲38.8	▲34.7(▲28.5)
建設	▲56.2	▲69.2	▲53.3	▲46.1	▲68.7	▲40.0	▲40.0(▲50.0)
製造	▲44.4	▲50.0	▲44.4	▲52.9	▲41.1	▲50.0	▲38.8(▲17.6)
卸・小売	▲34.4	▲37.9	▲19.2	▲34.4	▲33.3	▲42.8	▲32.1(▲29.6)
サービス	▲25.0	▲25.0	▲27.2	▲9.0	▲10.0	▲9.0	▲27.2(▲10.0)



【平成19年5月の従業員についての状況】

○ 5月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、△11.1(前月水準△15.7)となり、プラス幅が▲4.6ポイント縮小した。

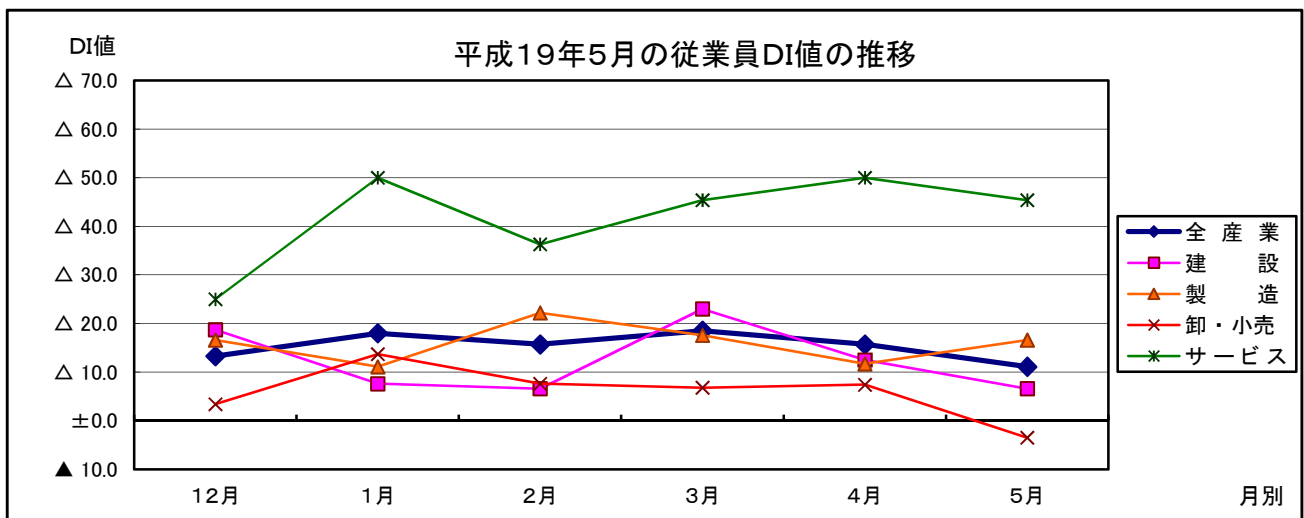
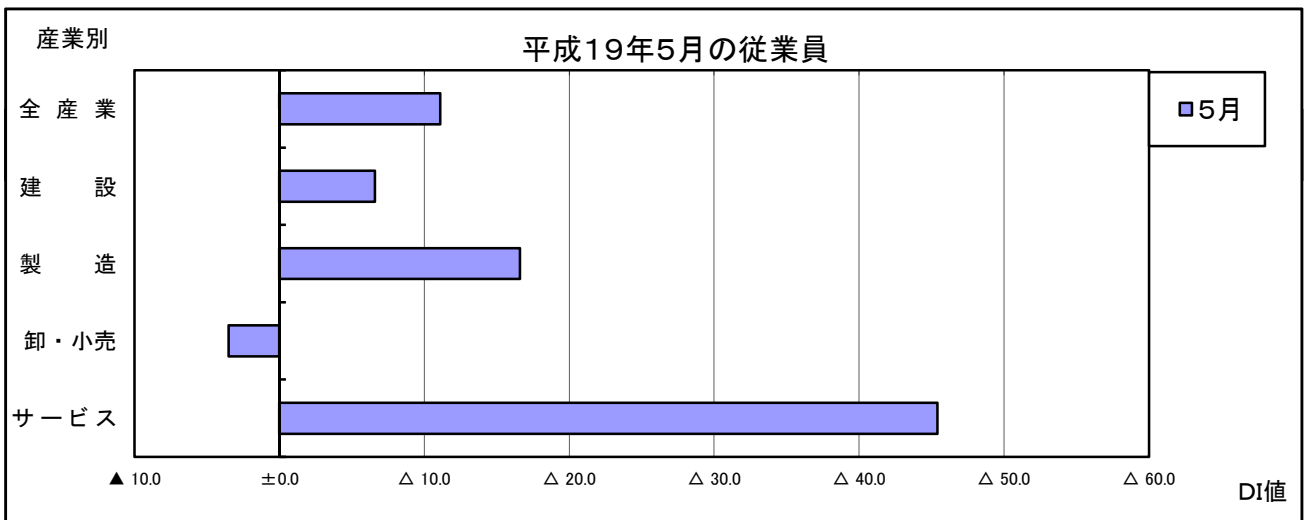
業種別では、前月水準と比べて、プラス幅が拡大した業種は、製造業△16.6(同△11.7)である。プラス幅が縮小した業種は、幅の大きい順に、建設業△6.6(同△12.5)、サービス業△45.4(同△50.0)である。プラスからマイナスに転じた業種は、卸小売業▲3.5(同△7.4)である。

○ 向こう3ヶ月(6月から8月)の先行き見通しについては、全産業では、△12.5(前月水準△20.0)となり、プラス幅が▲7.5ポイント縮小する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、プラス幅が拡大する見通しの業種は、建設業△13.3(同△6.2)である。プラス幅が縮小する見通しの業種は、幅の大きい順に、サービス業△45.4(同△50.0)、製造業△16.6(同△17.6)である。プラスからマイナスに転じる見通しの業種は、卸小売業▲3.5(同△18.5)であり、▲22.0ポイントと大幅に悪化する見通しである。

平成19年5月の従業員DI値(前年同月比)の推移

	平成18年 12月	平成19年 1月	2月	3月	4月	5月	先行き見通し 6月~8月(5月~7月)
全産業	△13.3	△18.0	△15.7	△18.5	△15.7	△11.1	△12.5(△20.0)
建設	△18.7	△7.6	△6.6	△23.0	△12.5	△6.6	△13.3(△6.2)
製造	△16.6	△11.1	△22.2	△17.6	△11.7	△16.6	△16.6(△17.6)
卸・小売	△3.4	△13.7	△7.6	△6.8	△7.4	▲3.5	▲3.5(△18.5)
サービス	△25.0	△50.0	△36.3	△45.4	△50.0	△45.4	△45.4(△50.0)



【平成19年5月の資金繰りについての状況】

○ 5月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲4.1(前月水準▲5.7)となり、マイナス幅が△1.6ポイント縮小した。

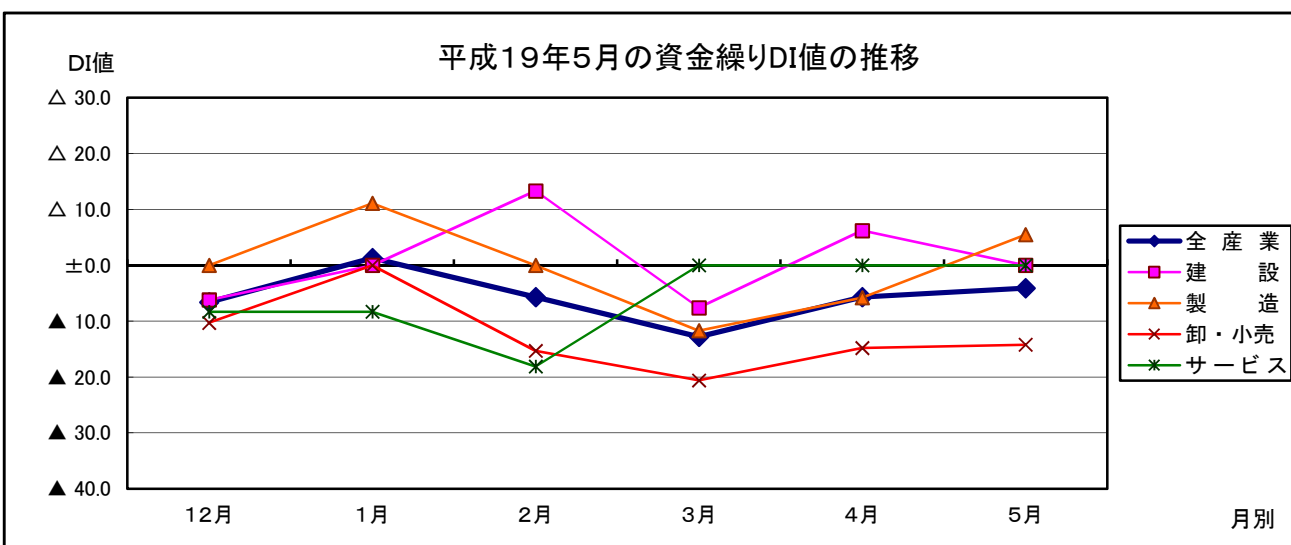
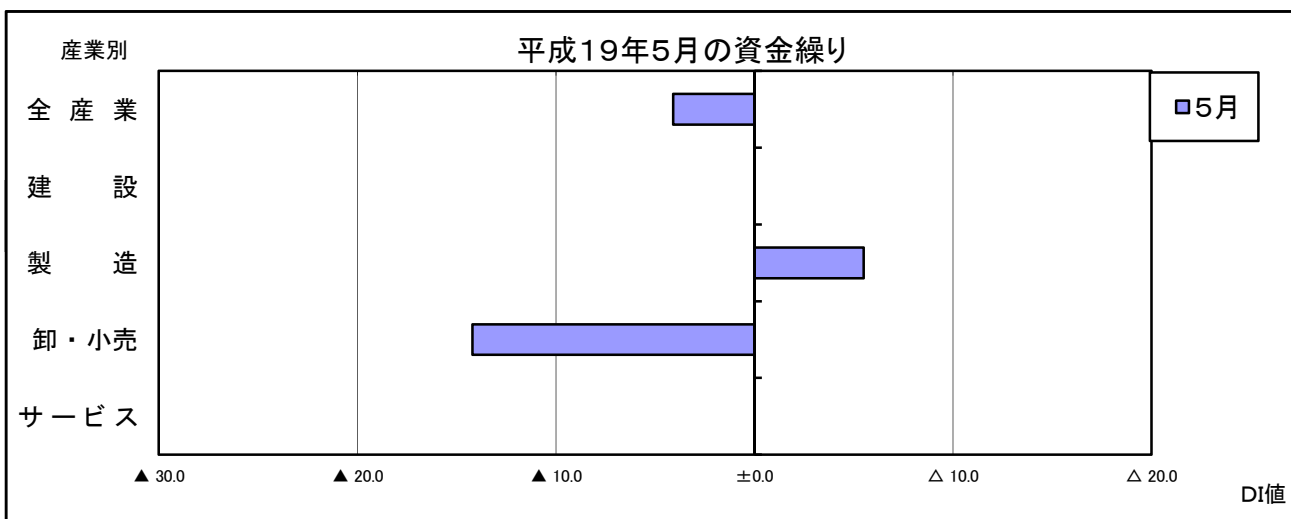
業種別では、前月水準と比べて、マイナスからプラスに転じる業種は、製造業△5.5(同▲5.8)である。プラス幅が縮小した業種は、建設業±0.0(同△6.2)である。変らない業種は、サービス業±0.0(同±0.0)である。マイナス幅が縮小した業種は、卸小売業▲14.2(同▲14.8)である。

○ 向こう3ヶ月(6月から8月)の先行き見通しについては、全産業では、▲5.5(前月水準▲7.1)となり、マイナス幅が△1.6ポイント縮小する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小する見通しの業種は、幅の大きい順に、製造業±0.0(同▲5.8)、卸小売業▲14.2(同▲14.8)である。変らない見通しの業種は、建設業±0.0(同±0.0)、サービス業±0.0(同±0.0)である。

平成19年5月の資金繰りDI値(前年同月比)の推移

	平成18年 12月	平成19年 1月	2月	3月	4月	5月	先行き見通し 6月~8月(5月~7月)
全産業	▲ 6.6	△ 1.3	▲ 5.7	▲ 12.8	▲ 5.7	▲ 4.1	▲ 5.5 (▲ 7.1)
建設	▲ 6.2	±0.0	△ 13.3	▲ 7.6	△ 6.2	±0.0	±0.0 (±0.0)
製造	±0.0	△ 11.1	±0.0	▲ 11.7	▲ 5.8	△ 5.5	±0.0 (▲ 5.8)
卸・小売	▲ 10.3	±0.0	▲ 15.3	▲ 20.6	▲ 14.8	▲ 14.2	▲ 14.2 (▲ 14.8)
サービス	▲ 8.3	▲ 8.3	▲ 18.1	±0.0	±0.0	±0.0	±0.0 (±0.0)



【平成19年5月の業種別業界内トピックス】

産業別	概況	キーワード	業種
建設	民間・官公庁共に発注物件が出るものの、予算が積算とつりあう金額ではないため、自社努力で取り組める範疇を超えている。	・公共工事 ・民間工事 ・不採算物件	一般土木建築工事業
	厳しい状況に変わりありません。	・厳しい状況	一般土木建築工事業
	全体的には前年度と同じで状況は不変だが、向こう3ヶ月間の先行きの見通しについては不透明。好材料が少ない。	・先行き不透明 ・好材料少ない	土木工事業(舗装、しゅんせつを除く)
	天候不順による行程の変動が多く、悩みの種です。 仕事の方も少しずつ出てきました。	・天候の影響 ・物件増加	板金・金物工事業 その他の職別工事業
製造	原材料の値上げが再び活発化してきており、利益を圧迫している。	・仕上上昇 ・利益圧迫	ゴムベルト・ゴムホース・工業用ゴム製品製造業
	複写機・プリンター関係に使用されているキャリアは好調だが、相変わらずカイロ関係は不調。	・鉄粉事業好調 ・カイロ事業不調	その他の鉄鋼業
	短納期対応の受注が増え、加工において一時的に工数オーバーが発生。外注加工にスポット発注をしたが、原価のアップ要因となっている。	・短納期受注増加 ・外注加工増加 ・仕上上昇	その他の機械・同部分品製造業
	短納期での注文が増加している。	・短納期受注増加	電子部品・デバイス製造業
卸・小売	ゴールデンウィーク明けから売上が減少し、そのまま推移しております。昨年のデータを見ても同じような傾向が見られます。先行きの見通しですが、決して楽観したものではなく、今の悪いまま推移すると思われ	・ゴールデンウィーク ・売上減少 ・先行き不透明	食料・飲料卸売業
	昨年5月、南柏にイオン南柏SCが開業し、商圏内の商業施設は何らかの影響を受けていたものと思われ。当月で一巡しましたが、その後の柏の葉ららぽーと・流山おおたかの森SCの開業により相殺され、売上高の回復は見られておりません。	・大型店出店	百貨店
	衣・住は昨比維持ペースで推移しているが、食品が苦戦(客単価、平均単価はUPしているが、客数ダウン)。昨年からの競合オープンの影響が影響しているものと思われる。	・衣・住維持 ・食品不調 ・大型店出店	その他の各種商品小売業(従業者が常時50人未満のもの)
	大型店舗がやっと出揃いました。これから大手とどう違いをみせていくかが今後の中小小売店の課題です。	・大型店出店 ・差別化戦略	各種食料品小売業
	前回同様に、野菜は入荷増で単価安値動き、果実は入荷減単価高の傾向は続いています。また、昨今の天候にも突然の雷雨や高温によることが起こり、山でのダム水不足も気になる。旬の野菜果実の集荷に全力投球しているが、消費動向が期待はずれとなっています。卸として、期待数量の集荷と販売対策を図っていきます。	・野菜入荷増単価安 ・果実入荷減単価高 ・天候の影響 ・消費動向	食料・飲料卸売業
	アルバイトが募集をかけても集まらなくなった。人手不足は近隣大型店の影響か。	・人手不足 ・大型店出店	菓子・パン小売業
	学生衣料・夏服順調。修学旅行・林間学校、春の運動会で体育関係と関連衣料も好調。文具事務用品も好調。	・学校用品好調	その他の飲食料品小売業
	客数が減少している。	・客数減少	医薬品・化粧品小売業
	原油価格高騰に仕入単価の値上げの予想あり。	・原油高騰	ガソリンスタンド
	原油高騰による影響。	・原油高騰	燃料小売業(ガソリンスタンド含まず)

【平成19年5月の業種別業界内トピックス】

	<p>少し沈静化していた安売り業者がここにきて動きが出てきた。手の内は15000円の商品券で直接交渉らしい。消費者を獲得する手法を続々と考えている。資本力の無い我々は静かに敵が去るのを待つしかない。</p>	・競争激化	燃料小売業(ガソリンスタンド含まず)
	<p>5月10日に売場変更。8月上旬の東急ハンズ開店まで奥まったところでの販売になるので目算立たず。おたかの森SCの中の紀伊国屋(900坪)も強敵なり。</p>	・大型店出店	書籍・文房具小売業
	<p>例年より人出の多いゴールデンウィークであったが、軽衣料、アクセサリー類に若干動きがあった程度で、貴金属等の高額商品は売れていない。</p>	・ゴールデンウィーク ・客数増加 ・高額商品不調	その他の各種商品小売業(従業者が常時50人未満のもの)
	<p>5月度は4月同様7・8階大型店導入に伴うリニューアル工事の影響で、営業面積が減少していることや、今年のGWは行楽地に人が流れたこともあり、売上高は月初より昨年を下回る推移となった。しかし、昨年10日にイオン柏SCがオープンし、昨年10日以降影響を受けたことや、13日には3階に新店がオープンし、好調に推移していることから、売上は若干回復傾向がみえてくる。後半に掛けては大きなイベントはないが、新規店の告知を強化するなどし、入店を促し売上に繋げていく。</p>	・改装工事中 ・ゴールデンウィーク ・売上回復	各種商品小売業
	<p>若手起用。</p>		農畜産物・水産物卸売業
サービス	<p>理容の世界大会で日本の選手が1位と3位を取りました。テレビ朝日において、5/23夕方にJチャンネル、5/24朝にスーパーモーニングの中で放映されました。業界の活況につながれば・・・と思います。</p>	・理容世界大会	理容業
	<p>土曜日より日曜日の方が忙しい気がします。車で来店する方が増えました。</p>	・日曜繁忙 ・車客増加	食堂・レストラン
	<p>大手外食に負けない技術とサービスで個人の店舗も努力を重ねなければ生き残れない時代が来ている。</p>	・差別化戦略	食堂・レストラン
	<p>宿泊…Jリーグ宿泊あり 宴会…宴会・会議厳しい状況</p>	・宿泊好調 ・宴会不調	ホテル

【平成19年5月の多い景気キーワード】

◎大型店出店

- ・ 昨年5月、南柏にイオン南柏SCが開業し、商圈内の商業施設は何らかの影響を受けていたものと思われます。当月で一巡しましたが、その後の柏の葉ららぽーと・流山おおたかの森SCの開業により相殺され、売上高の回復は見られておりません。 (卸小売業)
- ・ 衣・住は昨比維持ペースで推移しているが、食品が苦戦(客単価、平均単価はUPしているが、客数ダウン)。昨年からの競合オープンの影響しているものと思われる。 (卸小売業)
- ・ 大型店舗がやっと出揃いました。これから大手とどう違いをみせていくかが今後の中小小売店の課題です。 (卸小売業)
- ・ アルバイトが募集をかけても集まらなくなった。人手不足は近隣大型店の影響か。 (卸小売業)
- ・ 5月10日に売場変更。8月上旬の東急ハンズ開店まで奥まったところでの販売になるので目算立たず。おおたかの森SCの中の紀伊国屋(900坪)も強敵なり。 (卸小売業)

◎仕入上昇

- ・ 原材料の値上げが再び活発化してきており、利益を圧迫している。 (製造業)
- ・ 短納期対応の受注が増え、加工において一時的に工数オーバーが発生。外注加工にスポット発注をしたが、原価のアップ要因となっている。 (製造業)
- ・ 原油価格高騰に仕入単価の値上げの予想あり。 (卸小売業)











平成19年5月のCCI - LOBOとの比較











- 【業況DI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲19.4に対し、「CCI-LOBO」が▲25.1で、マイナス幅が5.7ポイント小さい。「柏の景気」の方が10ポイント以上良い業種は、建設業・製造業・サービス業。「柏の景気」の方が悪い業種は、卸小売業。
- 【売上DI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲20.8に対し、「CCI-LOBO」が▲19.9で、マイナス幅が7.5ポイント大きい。「柏の景気」の方が良い業種は、卸小売業・サービス業。「柏の景気」の方が悪い業種は、建設業・製造業。
- 【採算DI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲15.2に対し、「CCI-LOBO」が▲25.2で、マイナス幅が10ポイント大きい。「柏の景気」の方が10ポイント以上良い業種は、建設業・製造業・サービス業。「柏の景気」の方が10ポイント以上悪い業種は、卸小売業。
- 【仕入単価DI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲38.8に対し、「CCI-LOBO」が▲28.5で、マイナス幅が10.3ポイント大きい。「柏の景気」の方が良い業種は、建設業・サービス業で10ポイント以上良い業種は、サービス業。「柏の景気」の方が悪い業種は、製造業・卸小売業で、10ポイント以上悪い業種は卸小売業。
- 【従業員DI】 全産業合計では、「柏の景気」が△11.17に対し、「CCI-LOBO」が△0.2で、プラス幅がポイント大きい。「柏の景気」の方が10ポイント以上良い業種は、建設業・製造業・サービス業。「柏の景気」の方が悪い業種は、卸小売業。
- 【資金繰りDI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲4.1に対し、「CCI-LOBO」が▲18.2で、マイナス幅が14.1ポイント小さい。「柏の景気」の方が全ての業種で良くなっており、10ポイント以上良い業種は、建設業・製造業・サービス業。











平成19年5月の柏の景気天気図

柏の景気情報と全国CCI LOBOとの比較











景気天気図					
	特に好調 DI > 50	好調 50 > DI > 25	まあまあ 25 > DI > 0	不振 0 > DI > -25	極めて不振 DI < -25











業況DI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 19.4	 26.6	 ±0.0	 32.1	 9.0
CCI LOBO	 25.1	 40.9	 21.3	 22.2	 20.9


売上DI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 20.8	 40.0	 16.6	 17.8	 9.0
CCI LOBO	 19.9	 37.8	 9.1	 19.8	 18.4


採算DI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 15.2	 33.3	 ±0.0	 28.5	 18.1
CCI LOBO	 25.2	 45.2	 24.9	 17.7	 22.2

仕入単価DI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 38.8	 40.0	 50.0	 42.8	 9.0
CCI LOBO	 28.5	 40.7	 49.4	 14.6	 19.3

従業員DI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 11.1	 6.6	 16.6	 3.5	 45.4
CCI LOBO	 0.2	 17.0	 1.4	 6.4	 3.4

資金繰りDI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 4.1	 ±0.0	 5.5	 14.2	 ±0.0
CCI LOBO	 18.2	 33.6	 14.9	 15.8	 16.8

 は「柏の景気」の方が、10ポイント以上良い項目

 は「柏の景気」の方が、10ポイント以上悪い項目

CCI - LOBO

商工会議所早期景気観測 (5月速報)

調査期間：平成19年5月21日～25日

調査対象：全国の407商工会議所が2579業種組合等にヒアリング調査を実施。

全国の業況

DI値は四カ月連続改善も、業況はほぼ横ばい

五月の景況をみると、全産業合計の業況DI(前年同月比)は、以下同し(1)は前月水準(一五三)よりマイナス幅が〇.二ポイント縮小して二五.一となり、四カ月連続でマイナス幅が縮小した。

【建設業】では、「ガソリン、鉄等の仕入単価が上昇し、収益を圧迫している」(一般工事)、「公共工事、民間工事受注量の減少に加え、原材料価格も上昇しており、業況は厳しい」(建築工事)、「鉄や油の価格が上昇している」(一般工事)と仕入コストの上昇を訴える声が寄せられている。

【製造業】では、「業況は総じて順調に推移している。今後も安定した引き合いが見込まれ、先行きは明るい」(一般産業用機械製造)、「受注が好調である。売上、採算ともに改善した」(金属加工機械製造)との声がある一方、「仕入単価の上昇による採算の悪化が懸念される」(通信機械器具製造)、「原材料価格の上昇分を販売価格に転嫁できないため、厳しい状態が続いている」(紙製造)と、仕入コストの上昇や販売価格の低迷を訴える声も寄せられている。

【卸売業】では、「売上が増加し、採算もやや好転した」(衣服・日用品卸売)との声がある一方、「景気拡大と言われているが、当業界では実感できない」(家具・建具卸売)、「売上が減少している。先行きは楽観できない」(各種商品卸売)、「業況は前年同月に比べ悪化した。個人消費も低迷している」(食料・飲料卸売)との声も寄せられている。

【小売業】では、「業況は比較的好調である。先行きにも期待が持てる」(その他の小売)、「ギフト券の売上が増加した」(商店街)との声がある一方で、「来店客数は増加しているものの、売上に結びつかない」(商店街)、「個人消費に力強さを感じられない」(百貨店)との声も寄せられている。

【サービス業】では、「来店客数が増加し、売上も伸びた」(食堂・レストラン)との声がある一方で、「店が暇であるため、従業員が定着しない」(その他の一般飲食店)、「ビジネスホテルの進出等の影響により、業況は厳しい」(旅館)、「業況は悪化している。景気回復感はない」(旅館)との声も寄せられている。

五月のキーワード
回復への動き
ヒアリング先からは、「業況

は回復している」(秋田・管工)、「業況は安定している。原材料価格が上昇傾向にあるなど不安材料はあるが、受注も堅調に推移している」(館山・金属加工機械製造)、「受注は先月に引き続き好調に推移している。資金繰りも改善傾向にある」(静岡・自動車付属品製造)、「売上の増加が見込まれる」(帯広・各種商品卸売)、「美術品や洋服などの売上が好調だった」(金沢・百貨店)、「業況が回復傾向にある中、従業員の確保が困難になっきている」(京都・旅館)とのコメントが寄せられている。

仕入コストの上昇
また、原材料価格の高騰による仕入コストの上昇を訴える声が寄せられている。建設製造からは、「原油価格の高騰により、仕入コストや配送コストが増加し、収益が悪化している。特に、鋼材、ステンレス、プラスチックを含む建設資材の仕入単価が上昇している」(静岡・一般工事)、「紙の仕入価格が上昇し、業界を取り巻く環境は依然として厳しい」(千葉・印刷業)、「ガソリン、ステンレス、アルミニウム、メッキ等の価格が上昇している」(水戸・金属加工機械製造)との声が寄せられている。また、サービスからは、「燃料費の値上がりが懸念される」(松山・旅館)といったコメントも寄せられている。

ている。

販売価格の低迷
さらに、販売価格の低迷に関する声も聞かれている。建設製造からは、「仕入単価の上昇に加え、販売単価が低迷しており、苦しい経営状況が続いている」(金沢・建築工事)、「原材料価格が徐々に値上がりしている一方、販売価格への転嫁が困難なため、採算への悪影響が出始めている」(千葉・一般産業用機械製造)との声が寄せられている。また、小売からは、「仕入価格が高くて販売価格に転嫁することができないため、業況は厳しい」(銚子・商店街)といったコメントも寄せられている。

全国・産業別業況DIの推移

	全産業	建設	製造	卸売	小売	サービス
12月	25.2	34.4	15.2	31.3	25.6	27.0
1月	28.0	40.4	18.1	31.9	28.7	28.1
2月	27.8	41.5	14.3	35.8	30.0	27.2
3月	26.0	42.8	14.5	37.7	25.4	23.7
4月	25.3	36.8	20.6	38.2	19.8	23.9
5月	25.1	40.9	21.3	27.8	22.2	20.9
見通し	23.1	40.3	20.4	23.5	17.7	21.1

「見通し」は当月水準と比較した向こう3ヶ月の先行き見通しDI